

●エコミュージアム入門講座

第2回「井の頭公園における江戸庶民の信仰文化」

第3回「井の頭公園の植物」

主催 三鷹市教育委員会 生涯学習課

日時 第2回3月5日(土) 13:00~15:00

第3回3月6日(日) 13:00~15:00

場所 第2回教育センター3階大研修室

第3回井の頭公園(文化園前集合)

対象 特になし 無料

定員 各回30名

申込 電話・FAXで申し込み

電話 0422-45-1151 FAX0422-43-0320

問合せ 生涯学習課 内線 3316

●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 3月6日(日) 13:00~14:30

4月3日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 3月12日(土) 9:00~12:00

4月9日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●Tシャツからルームシューズ作り

主催 ごみ対策課

日時 3月17日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 10名(多数の場合は抽選) 無料

申込 往復はがきで3月9日(水)

必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2534

●第6回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「春をさがそう」

日時 3月19日(土) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

編集後記

今年になって雨の日が少なかったのですが、節分が過ぎてから、東京でも雪がふりました。野川公園では子供たちが大喜びで、雪だるまを作っていました。野川公園野鳥観察会は、前日の雪にもかかわらず、多くの参加者があり、冬鳥を探しました。(安達)

発行:みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先:三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

緑のボランティアたちが三鷹の緑の保全を担う

一昨年、花と緑のまち三鷹創造協会が発足しました。その設立の趣旨には、「市民自治と協働のまちづくりを進め、緑のネットワークづくりを推進すること」と謳われています。そのネットワークの一端を担う緑のボランティアたちが、七年間に亘る緑のボランティア講座で育っています。

本年度も、全6回の講座が1月22日に終了しました。最終日の午前中は、東京農業大学の濱野周泰教授による「樹木の剪定」の講義があり、午後は、北野中央公園で剪定の実習をしました。その後の修了式では10名のボランティアが修了し、1期からの通算修了者数は総勢106名となりました。

緑のボランティアたちは、市の公園等で、公園ボランティアとして活動するとともに、花と緑の広場での活動などを行ってきました。本年の2月からは、国立天文台の竹林の密度管理にも一役果たすことになり、2月5日午後、最初の作業を行いました。緑のボランティア講座を修了したボランティア17名と花と緑の三鷹創造協会の小泉さん、香川さんの総勢19名で、2時間無心に作業を



北野中央公園で、ウメの剪定の実習をする緑のボランティア講座の受講生たち



国立天文台の竹林で、緑のボランティアたち

しました。皆、地域に役立つ活動ができた満足感を味わいました。冬なのに少し汗をかきました。(安達)

三鷹市星と森と絵本の家の庭での活動

～ 環境に関心を広げる取り組み ～

2月初旬、「絵本の家」に伺い、主事の谷口哲さんにお聞きしました。

平成21年7月、国立天文台の構内に三鷹市星と森と絵本の家が開館しました。子供の好奇心を育むことを目的としています。大切にしていることは、「ものに直接触れることと、ものを作ること」で、この体験を通して、子供たちが育っていくことを願っています。

その体験の場の一つに、庭につくられた池があります。この庭は“庭づくりプロジェクト”（公募）に申し込んできた2才から70才までの市民70名の力によって作られました。その池には、絵本家の屋根に降った雨水を、地下タンクに貯留して、注いでいます。池をみんなで観察し、それを発見ノートに記録しています。池にはトンボがやってきました。ツグミが水を飲みにきました。トンボのヤゴもみつけました。

その池の隣には、皆で掘った手堀の井戸があります。昨年4月に地下10m余りの深さまで掘ったら、地下水がしみ出てきました。井戸を掘った子供たちは、大喜びをしたそうです。夏に、一時、水が涸れましたが、10月ごろからまた水が出ています。時々、井戸水の水温を観察しています。

庭には、その他に昔から天文台内に自生している植物を大切にしている草壇、伐採された木を使って工作体験ができ



池を観察する来園者たち



井戸掘り体験

るクラフトコーナー、ヒヨドリ、メジロ、ジョウビタキ、オナガ、ルリビタキがやってくる鳥の観察コーナーなどもあります。この「絵本の家」では、40名のボランティアが活動しています。その他に25名の小・中学生がボランティアとして支えています。 (安達)

野川の生き物観察会

1月23日（日）の午前中、野川流域連絡会生き物分科会主催の冬季「野川・生き物観察会」が野川公園柳橋付近のほたる川（湧水の小川）で行われました。一般参加の市民12名を含む合計28名が参加しました。

まずは、野川公園自然観察センターのレクチャ室で野川ルールの説明、外に出て準備運動、ほたる川に移動して、約30分間、補修作業を行いました。その後、約45分間、ほたる川と野川本流で生きものを採取しました。

採取した生き物は、野川本流では、オイカワ、メダカ、モツゴ、アメリカザリガニ、ミナミヌマエビ、ヒラタドロムシ属など、ほたる川では、ホトケドジョウ、



野川で生き物の採取をする様子

ミナミヌマエビ、アメリカザリガニなどでした。これらは調査の後、放流しました。寒い中、子供たちが、いきいきと活動してくれる姿を見ることができたのが何よりの成果でした。 (安達)

市役所の窓 : 私とエコ製品

今から10年前位に、土に埋めると分解されるビニール袋を見てとても驚いたことを覚えています。今ではそういった手帳も発表されたそうで、将来には使い切った文房具を土に埋めることも当たり前の光景になるかもしれません。エコ製品は次々と開発され、製品を世の中に広めるために大規模な展示会もあります。本庁舎と第二庁舎で使われているガラスもその展示会で出展されていました。私たちの生活にどんどん身近になっているようです。

ものを選ぶ際、価格、デザインなどももちろんこだわりたいですが、これから

は環境に配慮しているかどうかも重要なポイントになってくることが多くなっていきそうです。事前に企業の製品紹介ホームページを見るなどしてチェックするなどいいと思います。例えば、エコマークは知っていたけれど、実際選ぶときにエコマーク製品を重視するか、と言われたら私は特に考えていませんでした。これからは少し注意して見てみたいものです。また、新しいものにどうしても目に行ってしまうが私の私ですが、まずは必要かどうか、そして今ある使えるものは長く使っていくこともしていきたいです。 国体推進室 横山 智子